



## 平成24年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年8月8日

上場取引所 札

上場会社名 北海道中央バス株式会社  
 コード番号 9085 URL <http://www.chuo-bus.co.jp/>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役  
 四半期報告書提出予定日 平成23年8月12日  
 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無  
 四半期決算説明会開催の有無 : 無

(氏名) 平尾 一彌  
 (氏名) 大森 正昭

TEL 0134-24-1111

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成24年3月期第1四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年6月30日)

#### (1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第1四半期	6,681	△9.7	△195	—	△145	—	△137	—
23年3月期第1四半期	7,396	△0.7	△48	—	△3	—	△195	—

(注) 包括利益 24年3月期第1四半期 △189百万円 (—%) 23年3月期第1四半期 △315百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第1四半期	△5.21	—
23年3月期第1四半期	△7.39	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第1四半期	32,501	24,964	76.4
23年3月期	32,818	25,299	76.6

(参考) 自己資本 24年3月期第1四半期 24,824百万円 23年3月期 25,150百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	—	—	5.00	5.00
24年3月期	—	—	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	—	—

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無  
 平成24年3月期の期末配当予想は未定です。

### 3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、通期は対前期、第2四半期(累計)は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	14,840	△3.6	△330	—	△270	—	△250	—	△9.46
通期	33,800	3.3	370	△51.8	450	△48.7	200	△48.1	7.57

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

#### 4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	24年3月期1Q	31,460,000 株	23年3月期	31,460,000 株
② 期末自己株式数	24年3月期1Q	5,038,829 株	23年3月期	5,037,729 株
③ 期中平均株式数(四半期累計)	24年3月期1Q	26,421,841 株	23年3月期1Q	26,483,606 株

#### ※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続の対象外であります。この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期報告書のレビュー手続は終了していません。

#### ※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報 .....	2
---------------------------	---

2. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表 .....	3
----------------------	---

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 .....	5
------------------------------------	---

(3) 継続企業の前提に関する注記 .....	7
-------------------------	---

(4) セグメント情報 .....	7
-------------------	---

(5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 .....	7
----------------------------------	---

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第1四半期連結累計期間におけるわが国経済は、一部で持ち直しの動きが見られたものの、東日本大震災の影響による企業収益の減少や雇用情勢の悪化等、依然として厳しい状況が続いております。道内経済においても、住宅投資等に持ち直しの兆しが見られますが、観光客が海外を中心に大きく減少したこと等により、全国と同様に厳しい状況で推移しました。

このような経営環境のなか、当社グループは、地域に密着した営業活動を積極的に展開するとともに、より一層の収支改善に努め、経営体質の強化等に取り組んでまいりました。

当第1四半期連結累計期間の業績は、売上高6,681百万円（対前年同期比9.7%減）、195百万円の営業損失、145百万円の経常損失、137百万円の四半期純損失となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

#### ① 旅客自動車運送事業

乗合バス部門は、札幌市内での路線の新設や、高速バスにおける乗車箇所の増設を行うなど、利便性の向上に努めたほか、道内バス会社13社共同で、都市間高速バスの広告宣伝活動を引き続き実施しました。札幌市営地下鉄との乗継割引負担の見直しによる増収がありましたが、前期に比べ雪解けが早かったことによるバス利用者の減少や、東日本大震災の影響による空港連絡バス等の輸送需要が落ち込んだことで、減収となりました。貸切バス部門は、景気低迷、少子化、旅行形態の変化等に加え、東日本大震災の影響により輸送需要が減少し、減収となりました。

この結果、売上高は4,820百万円（対前年同期比2.0%減）、燃料油脂費の増加等もあり、113百万円の営業損失となりました。

なお、貸切バス部門は、通常の営業形態として夏期が繁忙期であるため、第1四半期及び第2四半期の売上高が他の四半期に比べて高くなる季節的変動があります。

#### ② 建設業

建設業は、公共事業の予算規模縮小や民間設備投資が低水準で推移したことの影響により、減収となりました。

この結果、売上高は782百万円（対前年同期比41.5%減）、101百万円の営業損失となりました。

#### ③ 清掃業・警備業

清掃業・警備業は、新規受注があったものの、契約先の経費削減を背景とした解約や契約内容の見直し等により、減収となりました。

この結果、売上高は622百万円（対前年同期比2.4%減）、営業利益は23百万円（同44.1%減）となりました。

#### ④ 不動産事業

不動産事業は、賃貸料収入が増加しました。

この結果、売上高は207百万円（対前年同期比7.4%増）、修繕費等の諸経費が増加したため、営業利益は80百万円（同5.2%減）となりました。

#### ⑤ 観光事業

小樽天狗山スキー場は、5月の天候不順によるロープウェイ利用の減少等により、減収となりました。ニセコアンヌプリ国際スキー場は、東日本大震災の影響による外国人来場者の減少があったものの、前年並みの収入となりました。ホテルニセコいこいの村は、学生団体や日帰り利用の減少により、減収となりました。

この結果、売上高は70百万円（対前年同期比12.1%減）、94百万円の営業損失となりました。

なお、当セグメントは、スキー場の営業が冬期間中心であるため、第4四半期の売上高が他の四半期に比べて高くなる季節的変動があります。

#### ⑥ その他の事業

飲食業においては、6月に長崎ちゃんぽん専門店「リンガーハット」の運営を開始しましたが、既存店舗における観光客の減少等により、減収となりました。自動車教習所は、授業料収入が減少しました。旅行業は、東日本大震災の影響による団体旅行の中止や延期等により、減収となりました。

この結果、売上高は769百万円（対前年同期比19.2%減）、営業利益は6百万円（同66.0%減）となりました。

2. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	6,323,672	6,632,923
受取手形及び売掛金	2,583,669	1,600,131
有価証券	198,657	199,711
販売用不動産	16,952	10,375
原材料及び貯蔵品	160,845	139,677
未成工事支出金	98,157	458,782
その他	419,951	657,008
貸倒引当金	△1,679	△1,594
流動資産合計	9,800,226	9,697,016
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	18,460,861	18,476,726
減価償却累計額	△13,761,639	△13,838,806
建物及び構築物(純額)	4,699,222	4,637,920
車両運搬具	25,440,323	25,430,915
減価償却累計額	△21,691,432	△21,931,071
車両運搬具(純額)	3,748,890	3,499,844
土地	10,684,490	10,677,775
その他	4,240,244	4,337,636
減価償却累計額	△3,771,325	△3,791,872
その他(純額)	468,919	545,764
有形固定資産合計	19,601,523	19,361,304
無形固定資産	69,197	71,525
投資その他の資産		
投資有価証券	2,665,849	2,661,772
その他	717,870	744,050
貸倒引当金	△35,850	△33,843
投資その他の資産合計	3,347,869	3,371,979
固定資産合計	23,018,590	22,804,808
資産合計	32,818,816	32,501,825

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (平成23年6月30日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,633,687	1,402,298
未払法人税等	276,286	29,172
賞与引当金	179,949	158,292
その他の引当金	3,390	10,654
その他	2,009,034	2,577,053
流動負債合計	4,102,347	4,177,472
固定負債		
退職給付引当金	2,359,480	2,334,858
役員退職慰労引当金	250,252	244,796
その他	806,782	780,585
固定負債合計	3,416,514	3,360,240
負債合計	7,518,862	7,537,712
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	2,100,000	2,100,000
資本剰余金	751,101	751,101
利益剰余金	23,232,051	22,948,140
自己株式	△1,145,822	△1,146,084
株主資本合計	24,937,330	24,653,156
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	213,512	171,793
その他の包括利益累計額合計	213,512	171,793
少数株主持分	149,110	139,162
純資産合計	25,299,953	24,964,113
負債純資産合計	32,818,816	32,501,825

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
売上高	7,396,363	6,681,514
売上原価	6,897,866	6,329,904
売上総利益	498,496	351,610
販売費及び一般管理費	547,236	547,096
営業損失(△)	△48,739	△195,486
営業外収益		
受取配当金	21,914	21,096
持分法による投資利益	9,573	14,558
その他	14,812	14,327
営業外収益合計	46,300	49,983
営業外費用		
支払利息	607	87
その他	—	2
営業外費用合計	607	90
経常損失(△)	△3,046	△145,593
特別利益		
固定資産売却益	3,541	178
補助金収入	350	4,800
完成工事補償引当金戻入額	2,006	—
その他	3,698	1,112
特別利益合計	9,596	6,090
特別損失		
固定資産除売却損	3,122	1,646
固定資産圧縮損	863	4,700
減損損失	7,923	6,715
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	148,200	—
その他	404	—
特別損失合計	160,514	13,061
税金等調整前四半期純損失(△)	△153,964	△152,564
法人税、住民税及び事業税	23,373	15,320
法人税等調整額	27,112	△20,211
法人税等合計	50,485	△4,891
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△204,449	△147,673
少数株主損失(△)	△8,651	△9,947
四半期純損失(△)	△195,798	△137,726

(四半期連結包括利益計算書)  
(第1四半期連結累計期間)

(単位:千円)

	前第1四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年6月30日)
少数株主損益調整前四半期純損失(△)	△204,449	△147,673
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△110,884	△41,711
持分法適用会社に対する持分相当額	△49	△8
その他の包括利益合計	△110,934	△41,719
四半期包括利益	△315,383	△189,392
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△306,732	△179,445
少数株主に係る四半期包括利益	△8,651	△9,947

## (3) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

## (4) セグメント情報

当第1四半期連結累計期間(自 平成23年4月1日 至 平成23年6月30日)

報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

	報告セグメント							調整額 (千円) (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (千円) (注2)
	旅客自動車 運送事業 (千円)	建設業 (千円)	清掃業・ 警備業 (千円)	不動産事業 (千円)	観光事業 (千円)	その他の 事業 (千円)	合計 (千円)		
売上高									
外部顧客に対する 売上高	4,798,476	775,572	390,543	142,038	67,884	506,999	6,681,514	—	6,681,514
セグメント間の 内部売上高又は 振替高	22,376	7,378	231,983	65,893	2,175	262,328	592,135	△592,135	—
計	4,820,853	782,950	622,527	207,931	70,059	769,328	7,273,650	△592,135	6,681,514
セグメント利益又は セグメント損失(△)	△113,930	△101,977	23,360	80,888	△94,202	6,766	△199,094	3,608	△195,486

(注) 1 セグメント利益又はセグメント損失(△)の調整額は、セグメント間取引消去であります。

2 セグメント利益又はセグメント損失(△)は、四半期連結損益計算書の営業損失と一致しております。

## (5) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。